

12月定例会

● 補正・陳情……………2

● 臨時議会……………3

● 委員会活動報告……………4
5

やまがた 議会 だより

● 9人が一般質問

6
7
8
9

● みなさんと議会……………10



「無病息災・家内安全を祈願」

2006年元旦。まだ暗い厳しい寒さの大池諏訪神社境内、大勢の人たちが新しい年の家族の健康と五穀豊穡を神様にお願いする。

本年もよい年でありますように



平成18年1月25日

No.75

12月定例会

発行 〒390-1301 長野県山形村議会
☎0263-98-3111(代表 原宏見)
FAX0263-98-3078
編集 山形村議会広報委員会
印刷 信州印刷KK

平成17年第4回定例会議会

国保医療費が急増

一般会計から3千6百87万9千円を繰入

平成17年第4回定例会は、12月6日から15日までの10日間の会期で開催された。
 村長提出の補正予算案など11議案を審議、いずれも原案どおり可決した。
 議会陳情は4件提出され、継続審査中の1件を含め審査、4件を採択、1件を不採択とした。
 一般質問には9人が立ち村政課題について議論した。

一般会計補正予算（第5号）は、歳入歳出それぞれ7千9百35万4千円を追加し、総額を30億2千9百46万7千円とした。
 主な歳出は、国民健康

保険特別会計への繰出金 3千6百87万9千円、老人保健医療特別会計への繰入金 4百87万円、公有林整備事業債借り替に伴う繰上償還金 4千4百60万

副議長に本木睦啓議員

1月5日臨時議会が開かれ、去る12月24日死去した村瀬章夫副議長の後任副議長選挙を行った。
 現議員任期は後3ヶ月半と短い期間となつてい

るが、この間には来年度予算審議をする3月定例会があり、議員選挙も行われる重要な時期であることを考慮し、投票によらず指名推選で本木睦啓議員を副議長に選出した。



本木副議長

本木議員は平成14年4月から2年間副議長を務めた。

工事請負契約

17年度西山なるう原公園建設工事（土木工事）の請負契約

マレットゴルフ場芝張道路舗装、木橋、あずまや等、1億2千3百90万円（株）ヤマジンと工事請負契約を締結した。

県の公園開発許可が遅れたため発注が遅れた。冬場に向かつての着工で年度内完工は見込めない。

条例改正

公の施設の指定管理者の指定手続き等に関する条例の一部改正

公の施設の指定管理者の選定について、公募によらないで選定できる規定を追加した。

スカイランドきよみずの管理について、公募しても応募者がいないことも想定される。この場合、村が出資している第3セクター（株）スカイランドきよみずを指定管理者に指定し経営が継続できる。

12月定例会補正予算

補正額	予算総額
一般会計（第5号）	30億2,946万7千円
7,935万4千円	
霊園事業特別会計（第2号）	7,549万5千円
5万7千円	
国民健康保険特別会計（第3号）	6億8,817万5千円
9,936万1千円	
老人保健医療特別会計（第2号）	7億5,152万2千円
6,349万5千円	
介護保険特別会計（第2号）	4億1,405万1千円
140万円	
下水道事業特別会計（第3号）	4億7,619万8千円
148万3千円	
水道事業会計（第3号）	2億776万6千円
収益的収支	0円

陳情

個人所得課税における各種控除の安易な縮小を行わないことを求める意見書の採択についての陳情（採択）
 高校改革プランの実施（不採択）

消防団員の定員、任命給与、服務等に関する条例の一部改正
 消防団員の確保のため村外から村内に勤務する者も団員に任命できる規定を追加した。（採択）
 患者、国民負担増の中止と「保険で安心してかかる医療」を求める陳情（採択）
 計画策定を先延ばしし、県民合意の高校改革をすすめることを求める意見書採択を求める陳情（採択）
 看護職員的大幅増員を求める陳情（採択）
 高校に30人規模学級を導入し、高校再編計画を立案し直すことを求める意見書採択を求める陳情（不採択）

アスベスト検査の結果報告

- 期末手当 0.05
- ケ月上がり、年額 4.4 ↓ 4.45
- ケ月に。
- 災害派遣手当等に「武力攻撃事態等における国民の保護のための派遣手当て」と書き加

臨時議会

職員給与条例の改正

11月29日に開会の臨時議会は、人事院勧告を12月より実施するため、職員給与条例改正が主な議案だった。行政報告などで、アスベスト検査の結果の報告があった。

職員給与と条例の一部改正

- 給料0.3%下げ。
- 配偶者手当の5百円。

えられた。

アスベストの検査結果

保育園の未満児室便所の天井と、南棟のテラスの天井、役場の物品庫と放送室の天井のボードからアスベストの検出がされたが、否飛散性状態のボードなので改築はしないという全員協議会への報告であった。議員からは「劣化による飛散の起きない万全の対策をとるように」「村民への報告は正確に早く知らせる事」等の意見が出された。



▶ 保育園ベランダの天井



◀ 壁から検体を取る

「人口の増加率、県下二」と 新年会の村長挨拶で

恒例の村役職員新年会が、6日午後2時より、トレセン大ホールにて、千円会費で行われた。新年会に先立ち行われ



村功労者表彰式

のとおりです。

地方自治功労表彰者

斉藤 清さん、倉谷宗文さん、越 英吉さん、地域づくり功労表彰 林 和男さん、籠田工務店。

村長は新年会の挨拶の中で、「畑灌更新で竹田原地区も今回認可された事」役場東の県道歩道が今年から2年間の事業で実施に「人口の増加率が6.6%で県下一、高齢率は20.5%で県下低い方から5番目」等と話された。

村瀬議員逝く



村瀬章夫議員は、病氣療養中のところ、12月24日に死去された。68歳でした。任期前半は総務建水委員長、新聞記者の経験を生かしての議会だ

より編集委員長、女性の行動計画の策定委員等、そして、後半は副議長として、持ち前の熱意あふれる正義観を發揮されて、会議をリードした。一般質問などでは「住民参画など地域づくりの問題」「自立に向けた意識改革」「子供の健全育成」「保育園問題」などに取り組んでこられた。ご冥福をお祈りします。

議会日誌

10月	12日	福祉経済常任委員会
10月	13日	総務建水常任委員会
11月	25・26日	総務建水常任委員会、栄村・津南町視察
11月	1・2日	福祉経済常任委員会、埼玉小川町NPO、国立市の民間福祉施設の視察
5・6日	文化祭、新そば祭り	
10日	鉢盛議会	
11日	区3役と懇談会	
17日	3団体懇談会	
19日	青少年健全育成村民の集い	
22日	議会運営委員会	
26日	一般質問締切り	
29日	議会運営委員会、臨時議会	
12月	12月	第4回定例会開会
6日	一般質問	
7日	総務建水常任委員会	
9日	福祉経済常任委員会	
12日	本会議	
15日	議会運営委員会	
22日		

総務建水委員会視察

自立に向けた地域づくり

10月25日～26日

委員会

特にげたばき
ヘルパーは百13
人あり、住民14

としての将来像
モデルの基本方
針で田直し事業
道直し事業、げ
たばきヘルパー
は注目されてい
る。

人口2千6百人、9百
世帯、高齢者率42%、雪
が3m以上も積もるとい
う豪雪地帯。平成13年10
月に23会場30集落で合併
問題対話集會に始まった
検討會は平成16年1月に
栄村臨時議會において、
「自立の村づくり」を進
めるに決定した。

栄村

総務建水常任委員会は昨年10月25日と26日の2日間「協働の村づくり」と「自立した村づくりの財政シミュレーション」をテーマに長野県栄村と新潟県津南町を行政視察した。隣接する両町村とも日本で有数の豪雪地帯であり、JR森宮野原駅構内で7m85cmの積雪を観測し、日本最高積雪記録として積雪標柱が建てられている。

「小さくとも輝く栄村」
271平方kmの広い村に31
の集落が点在している。
小学校3校、中学校1校
でスクールバスを運行し
自立政策の中でも小中学
校はすべて存続、高校は
隣の津南高校へ越県通
学の生徒が多いそうだ。
時間がなく村内の視察
ができなくて残念だった。

豪雪対策も特徴的で平
年3m以上も積もるとい
う雪は深刻で、高齢化で
住宅屋根の雪下ろしや、排
雪が困難な世帯が増加し
ているため12月15日、3
月31日まで雪害対策救助
員を配置し対応している。
人に対して1人、5戸に
対して1人がなっている。
げたばきヘルパーとは、
真夜中でも雪の中でも駆
けつけられるようにとい
う意味で、ヘルパーの研
修会も行っている。

津南町

平成14年12月のアンケ
ートの結果、合併反対が
57%と多く、15年1月に
は合併をしない町づくり
を決定。その4月には、
「自立推進室」を設置し
た。分野別の自立推進チ

ームを11の施策分野ごと
に立ち上げ、自立に向け
た町づくりのための方策
と、財政シミュレーション
も20年先まで細かく具
体化されている。
職員全員が11の分野に
分かれて参加し、町づく
り検討委員55人との協働
作業を進めている。



津南町役場で説明を
聞く議員たち



栄村役場正面 今年4m近い積雪で
役場の看板が見えないようだ



栄村役場会議室にて説明を聞く議員たち



津南町役場正面にて
今年記録的な積雪で
国道も通行止めに

福祉経済委員会視察

埼玉県小川町 手作りのごみ処理設備で町の活性化
 東京都国立市 日本の知的障害福祉の草分け的存在
 社会福祉法人「滝乃川学園」

活動報告

11月1日～2日

小川町

11月1日、2日と埼玉県小川町のNPO法人「ふうど」の生ゴミ処理施設と有機農法を取り入れている関連農場を視察した。小川町は、回りを秩父の山々に囲まれており、都心から約60キロ、70キロ位で「都会に一番近い田舎」と言われ、人口3千7百人の町である。自然エネルギーの利用や、有機農業の盛んな町でもある。

平成14年7月法人格を取得し、小川町風土活用センター(NPOふうど)が設立された。有機農業生産者グループでは、消



太陽光発電を利用した電気柵

費者と提携し、一部を共同出荷しているとのこと。で余剰農産物の無駄をなくしたり、加工にも力をいれていた。体験学習、自然エネルギー学校、また、その他にも有機農業について学びたい人たちの、体験型農場があった。自然エネルギー学校では、太陽光発電をアイガモ、牛の電気柵、井戸等の揚水ポンプへの利用に、バイオマスプラントの設置利用等研究がされていた。間伐材を利用した木造ガラスの手作りの温室の設置、廃食油を利用してトラクターを動かしたり、アイガモを田に放しての除草等々、何でも有効に利用しアイデアを生かした農業をしていると思った。

国立市

深い木立ちと清らかな湧き水、武蔵野の面影が残る森の中にたえず、滝乃川学園は、日本で最初の知的障害者の施設で、明治24年石井亮一が被災孤女児を引き取り日米



放し飼いのアイガモ、田の除草に活躍する



液体肥料とメタンガス発生装置

の聖公会等の援助のもと滝乃川学園の前身である「聖三一孤女学院」を発足。以来百10年もの歴史を持つ知的障害者の福祉施設である。本館は昭和3年に竣工され、日本の昭和初期を代表する教育建造物としての重要性だけでなく、被害時の避難を想定した廊下の造り、各段が低く、ゴム張りの工夫がされている階段、採光に配慮した窓など、創立者夫妻による知的障害者への配慮が具体化された建物となっていた。



滝乃川学園本館前



滝乃川学園福祉文化室

一般質問

12月定例会では9人の議員が村政全般をたずねました。

保育園の2園の問題は今後どうするか

上條 清文議員

村長 老朽化を機に2園開設に向け準備する

Q 一人暮らし老人の健康状況等の確認はどのような方法を取っているか。

A 村長 65歳以上の老人と65歳以上のみ

の方で構成される世帯は要援護高齢者として民生委員の訪問対象者となっており1年に1回か2回村内一斉に訪問調査を実施している。また近隣の親族などから健康不安などの情報が寄せられた場合は民生委員にお願いして随時訪問相談をしている。

Q 一人暮らし老人、身体障害者等の生活保護を受けている人は何人くらいか。

A 村長 12月1日現



マンモス化した保育園運動会

在一人暮らし高齢者が4名、障害をお持ちの方が2名、村外での施設で生

広報・公民館報・議会報を1冊に統合を

竹野入恒夫議員

村長 それぞれの機関で議論を深めて検討する

Q (1)広報は、毎月発行して、百17万8千円、公民館報も毎月発行され、百36万円、議会報

が3ヶ月に1回発行で、年4回で66万2千円、合計で3百20万円かかっているが、1冊に組み込み

活されている方が1名である。

Q 保育園の諸問題について保育園の二園の問題は今後確実に実行される予定か。

A 村長 複園化問題についてはこれまで色々と研究してきたが平成14年4月に山形保育園建設検討委員会により複園化問題に関して当面は現保育園を改修しながら活用する、老朽化を機に2園開設できるように準備することにする、やまのこ共同保育園の動向を見て将来的には公設、民営化の検討を要すると答申があった。

統合できないか。(2)統合する事により、メリットもふえる。

住民に対する、自立のアピールが出来る。職員意識改革。軽費の削減。

連絡長、組長さんの負担の軽減。

1冊になった為に読みやすくなった。(これは、波田町が昨年の春より、広報関係が統合され1冊になった、波田町の町民の声です。)

A 村長 それぞれの機関が長い歴史の中で、目的を持って発行しており、統合により軽費の削減になると思う。それぞれの機関で議論を深めて、今後検討して行きたい。

その他にごみ処理の方法、紙類の回収には、役場駐車場にストックヤードの設置を。子育て支援の面から、中学生以下の児童に対して、インフルエンザの予防接種に補助が出来ないか。について質問しました。

唐沢地区の畑かん更新を

百瀬 厚美議員

村長 維持管理育成事業の補助 で対応する

Q 唐沢地区で団地内
の出水事故があり困
る。問題が多いので畑か
ん更新の考えはないか。

A 村長 唐沢地区の
畑かん更新は、住宅
が混住し実施しないと
している。必要な箇所は維
持管理育成事業の補助事
業で取り組みたい。

Q 宅地化した当時の
配管や管を止めてあ
る資料が欲しいが。

A 村長 当時の配管
図が残っていない。
完成図がないので変更を
記載した記録が残ってい
ないのが問題だ。

Q ウォーターハンマ
ーは畑だけでなく弱
い所で起きる。現状では
きちんと止水してない団
地内で起きる可能性が大
阪に出水で土地が流失し
た時、補償の問題はどう
なるか。

A 村長 責任がどこ
かむずかしい問題、
右岸土地改良区だろうが
村でも考えなくては。

Q 畑かんは村の農業
の生命線、動脈硬化
が進んでいるからきちん
とした対応を、補助事業
を活用して問題のある本
管の取替を早急に。

A 村長 農業経営の
基盤である農用地の有
効利用を図り、担い手
農家の確保・育成を図る
ためにも、この奨励金交
付事業は継続していきたい。
しかし厳しい財政事
情等もあり、新規、再設
定含めて、単価等は検討
したい。

農業施策は

百瀬 脩議員

村長 農家支援はする

ツットの補助についてはど
うするのか。

A 村長 今年度はコ
モンズ支援金の中で
試験的に導入し、そのネ
ットと曇を同時に破砕す
る機器を購入しての生分
解試験を行うようであり
処理方法はまだ確立され
ていないようで、試験状
況をみまもりたい。

Q 認定農業者育成と
経営所得安定対策は
あるか。

A 村長 認定農業者
としての支援措置も
あるわけで、今後は組織
化を図る。安定対策は農
地や利水の確保向上に対
処し、農協関係団体と連
携を取り、農家支援をし
たい。

他に「**事業仕分けの推
進**」村道北6号線の**拡幅
工事**」について質問しま
した。

通学バスの時間延長を

大池 俊子議員

村長 早い時期に移行したい

Q 「高校通学バス」の
運行の位置付けは。

A 村長 通学の利便
性、保護者負担の軽
減や安全性の確保が目的
である。

Q 来年度も続けて欲
しいがどうするか。

A 村長 アンケート
をとって毎回「利用
したい」との声が上がっ
ているにもかかわらず、
年々利用者が減っている
ので、飛躍的に改善が見
られない限り来年度の続
行は難しい。

Q この間、保護者と
教育長と交渉を行い、
時間延長を要望し、数日
広丘駅で高校生の声を聞
いた。「8時30分だと塩尻
方面から2便、松本から
1便、7時54分ぎりぎり
で走って飛び乗らなけれ
ばいけない。」「途中で部
活を止めて8時に間に合
うようにしている。」等々
聞いた。

そして、8時30分に延
びた場合に松電への支払
いはどうなるか。
A 教育長 30分延び
ても松電への委託料
は変わらないので、早い
時期に8時30分に移行し
たい。
その他に、子供を取り
巻く環境について・高齢
者福祉・地域での支え合
いについて質問しました。



布設替えされてい
る本管
(大池原にて)



ウォーター
ハンマーを
起こした管

Q 長イモの生分解ネ
したい。

A 村長 農業経営の
基盤である農用地の有
効利用を図り、担い手
農家の確保・育成を図る
ためにも、この奨励金交
付事業は継続していきたい。
しかし厳しい財政事
情等もあり、新規、再設
定含めて、単価等は検討
したい。



続行して欲しい通学バス

一般質問

消火栓ホースなどのいたみは

上條智佐雄議員

村長 分団の要望により順次交換

Q 18年度完成予定の
なろう原公園を村民

が期待している。立派な公園ができる周辺整備が気になる。ようちよの池の安全柵も含め、どのように取り組まれるのか。

A 村長 村が管理する道路、河川は必要に応じ対応。ようちよの池の安全柵も。山林は補助事業を取り入れ整備個人所有地は所有者の理



古くなったホース収納庫、看板も

解を得ながら、景観保持をお願いする。鷹の窪公園を愛する会のような、住民協働に期待したい。

Q 初期消火に力を発揮する消火栓。村には70社以内3百84基と聞く。村民として心強いが、ホースなど古い物がありはしないか。ホース収納庫の傷み、消火栓そのものの、ペンキのはがれもある。

A 村長 点検は各分団で年1回行っている。分団の要望により今年度は、消火栓用ホース2本、ホース収納庫を2基、防火水槽など色あせ看板5本を順次取り替える。本体の色あせも検討したい。消火栓は住民の物、自分の物として関心を持ち、分団と協力し合っ、日頃の訓練をお願いしたい。



工事が進む墓地公園予定地

なろう原工事終了と使用は

上條重幸議員

村長 18年度の完成

Q 10年間の長きにわたり、構想を立ててきたなろう原公園開発、近年にない大型事業であ

り、住民の期待も大きいものがある。マレットゴルフ場、墓地工事終了と使用はいつ頃になるのか。

A 村長 マレットゴルフ場を含めた公園部分は18年度完成を予定、墓地の販売は18年度末頃には詳細な説明をしたいと考えている。

Q 管理を含めたマレットゴルフ場の使用料等はどつするののか。

A 村長 使用料については今後検討して参りたい。管理については愛好者の皆さんに、地元施設としてご協力をいただきたいと考えている。

Q マレットゴルフ場の一部だけでも照明施設ができないか。

A 村長 マレットゴルフ場を含め周辺の整備はほぼ修了しており、照明施設の設置は予定していない。

他に、風食対策について質問しました。



鉢盛中学校舎

中学校心の教室相談員配置は

竹野ふみ江議員

教育長 不登校対応の先生とスクールカウンセラーの先生で対応

Q 中学校心の教室相談員配置について。

今日の教育を取り巻く環境は、急激な経済成長、社会の情報化の影響が子供達に確実になんらかの形で及んでいると思う。いじめ、登校拒否、人何か言われるとすぐキレる等々大人の常識では、

考えもつかない深刻な事件が、全国の学校で起きており、対岸の火事では済まされない現実。私達の身近にもある。思春期を迎えた、子供達の悩みや、ストレスを抱える生徒の相談相手になっただけの相談員の配置の考えはあるか。

A 教育長 特に中学生の頃は悩みがあつて当然で、友達のことや勉強のこと、心身のこと、父母との関係などさまざままであると思います。中学生になると他人に相談しない、したくないという心理もありむずかしい。現在中学校では、不登校対応の先生が悩みの相談にも応じてくれているし、毎月スクールカウンセラーの先生が来校し、生徒の相談にものつてくれます。

小泉政治をどう捉えますか

高山秀子議員

村長 極端な大企業中心主義だ

Q 小泉自民党政治をどう捉えますか。

A 村長 極端な大企業中心主義を特に感ずる。大企業は過去最高の利益を上げ、昨年の経常利益は45兆円、1年間で余剰資金が16・1兆円も膨らみ82兆円もの空前の金余り状況。一方勤労者の年収は4年前に比べ

て1人当たり27万円、世帯あたり40万円の減収、完全失業者は3百万人をこえている。小泉首相は「改革には痛みが伴う」というが、結局は大企業のために弱い中小零細企業や労働者がつらい思いや痛みを押し付けられている。それとともに福祉においても改革の名の下

新春スポット



公園で新年会

元日。村内あちこちの連絡班で新年会が開かれた。中大池のN連絡班は例年通り、区の公園で愛のプラザで新年初顔合わせ会「写真」。室内が一般的な中、初春の太陽をいっぱい浴びて、みんな1年の計を語り合った。

新婚さんが「祝い酒」を笑顔でふる舞った。

安全祈願祭

山形村において1年間消防車の安全と無事故、無火災を願った。



18年1月2日、下大池八幡神社で



定数16から12へ——。
厳しい条件下、3月26日
村議選が投・開票される。
定数減を村民はどう捕
らえるか。選択肢、新し
い議員像などを寄せても
らった。

議会の頃
(昭和61年～平成2年)



大池 義信
(下大池)

なる断水に住民
からの苦情が多
かった。本管の
布設替工事は、
何年もかけての
完成であった。
その頃から石綿
管のアスベスト
問題が持ちあが

昭和60年代はバブル
の最盛期で、当村も役
場の建替、
新庁舎・議場で初議会
ミラ・フード館、テニ
スコートの新設等トレ
ーニングセンターを中
心とした、公共施設が
集中建設された。庁舎
は61年春完成し、議場
の使い初めが私達の初
議会であり、緊張、襟
を正した。
当時山形の上下水道
は漏水がひどく、度重

り、全国で水道管の取
替工事が始まり、資材
が高騰。
当村では値上がり前、
よい時期に完成してよ
かった、と喜んだもの
だ。
住民サービスの基地
は役場庁舎。職員議会
が共に知恵を出し合い
「この村に住んでよか
った」。住民が活力を持
てるよう発信して欲し
い。



平林 昌躬
(小坂)

村会議員の選挙は過去
には、地区割による地区
推せんが形が大方であつ
たが、
2/3
回前の
選挙か
らは、出たい人が出ると
いった方向へ変化してき
た。
定数も現在の16人にな
って30年以上が経過
し、平成14年12月議会で

賢明な判断に期待

14人に改定された。しか
し適用されることのない
まま、17年3月の議会で
さらに2人減の12人とす
る条例改正案が可決され
た。村も自立と決まっ
て2年が過ぎ、自立の村づ
くり
には行
財政改
革がよ
り求められる。
厳しい現状の中で、村
民の意思を反映し、村発展
の先導者として、議員の役
割が重要だと思ふ。村民
の賢明な判断に期待。

定数減の村議選



本庄 富雄
(上大池)

問題、村の予算等まだま
だたくさん
さんの
事がある
中で、
定数が減るといふ事は、

自覚と再認識とを

ら山形村を、他の市町
村から少しでも羨ましが
られる様な、村づくりを
期待しています。
今まで以上議員一人ひと
りが村の為、村民の為、
山形村が自立してやって
いく事について、自覚し
ていただきたく思います。
たくさんの問題の中で、
最初に何からしなければ
ならないのか、しなくては
いけないのか、再確認
して
ただ
たい。
これ



古畑 正子
(上竹田)

身近な村会議員選挙が
3月行われます。人口は
増加し
ていま
すが自
立の道

緑大地 活気の村へ

を
選
択
し
財
政
難
の
村
と
し
て、
議
員
定
数
削
減
は
当
然
の
成
り
ゆ
き
だ
ら
な
い
と
思
い
ま
す。
緑豊かな大地を守り安心
して暮らせる活気ある村
造りを望みます。

と
思
い
ま
す。
地
区
か
ら
の
選
考
方
法
も
か
わ
る
で
し
よ
う
し、
村
民
の
関
心
も
高
ま
る
と
思
い
ま
す。
近隣の町村合併もいろ
いろと気になります。慎
重な検
討が必
要です
よう。

旬の味

地球温暖化現象が。12
月に入ると急激に温度が
下がり、真冬が続く。
長芋掘りは、土の水を割
りながら仕事を進める姿
が。山林苗は土の表面に
ツバがついて断念。苗木
がそのままの畑。連続の
寒波で日本海側を主に大
雪に見舞われ、列車の脱
線・家屋の倒壊・死者ま
で出ている。しかし山形
村は雪も少なく除雪費削
減にはなるが喜んでよい
ものか。作物のためには
雪で暖かく覆ってほしい。
CO₂削減のためにも新エネ
ルギーを考える時期では
ないか。
日本は昨年はじめて出
生者数と死亡者数が逆転
し、人口が2万人減少に。
そんな中、山形村は8
千五百55人と6.6%増で県
下一の伸び率に。自立の
道を歩む村にとって力強
い味方だ。活力ある村づ
くりや福祉を誇る村実現
には、議員の意識を高め、
村民の認識が変わること
で前進すると思ふ。

大池 俊子